

7 農政第1159-1号
令和8年1月19日

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

久留米市長

市町村名 (市町村コード)	久留米市 (402036)
地域名 (地域内農業集落名)	宮ノ陣・八丁島地域 (宮ノ陣・大杜・五郎丸・若松、八丁島)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年8月8日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

八丁島地域は、約81.7haの農用地を営農しており、そのうち約61haを(農)八丁島営農組合が管理している。地域の農業は土地利用型農業が中心で、露地野菜の栽培も盛ん。集落営農組織の次世代への担い手の引継ぎが課題である。

宮ノ陣地域は職住一致型の農業経営が行われ、後継者不足は比較的軽微である。農用地は約193.2haで、米や麦、大豆のほか、レタス等の露地野菜やキュウリ等の施設園芸、畜産もある。一部に不整形地があり、農作業効率の向上が課題である。なお両地域ともブロックローテーションを実施している。

(2) 地域における農業の将来の在り方

八丁島地域の農業は、現状の土地利用型農業と露地野菜を中心とした園芸農業の複合経営を想定する。若手農業者を担い手として集積と大規模化を進め、施設野菜の規模拡大を目指す。米麦農地の集約は営農組合中心で進めていく。

宮ノ陣地域では、現状の土地利用型農業と施設園芸農業、畜産業の複合経営を想定する。認定農業者や集落営農組織を将来の担い手と考える。米価低下や畠地化に伴う水利権喪失による将来的な担い手不足に備え、畦切等で効率化を検討し、農地の機能向上を図っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	274.9 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	274.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業上の利用は、原則として農振農用地の範囲と同一としているが、隣接市まで含めた農地を一体的に活用していく。住宅地と農地の棲み分けは現状を維持する。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

土地利用型農業については、農地中間管理機構を活用した農地集約も考えられるが、八丁島地域では進んでいない。今後は地域の集落営農組織で農地を集約し、地域の耕作者で分担する方法も検討したい。また露地野菜等は土地利用型農業を含んだブロックローテーションで実施しているため、集約の必要性は低い。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

農地集約の手段として検討する必要性はある。

(3) 基盤整備事業への取組方針

地域内に残る不整形地や狭小地は、補助活用による拡大化や、簡易な整備による効率性向上を検討する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

地域農業は、若手及び後継者が担う。育成には、市や県、JAの研修制度を活用する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

将来的な人手不足を想定し、機械オペレータの派遣や、外国人労働者の受け入れも検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

【令和7年度:座談会結果】

宮ノ陣・八丁島地域は、後継者や若手、集落営農組織による農地利用が活発であり、当面担い手不足は想定されない。農地不足が地域の課題。小郡市南部地域と農地耕作条件改善事業の実施を検討中。

なお、宮ノ陣地域と八丁島地域は隣接し、課題も共通事項が多いため令和7年度から地域計画を一本化する。